（平成２２年３月分）

部　門	市況の概要
野　菜	３月期の野菜の入荷状況は，根菜類は入荷増となったが，葉菜類は生育期の天候不順により入荷減となる品目が多く，土物類も依然品薄状態が続いていることから入荷減となった。果菜類は天候不順の影響を受けながらも中央市場の集散機能の発揮等によって前年並みの入荷となり，野菜全体の入荷量は前年並みとなった。 価格は，根菜類や果菜類は不況による需要の低迷から単価安となったが，土物類が大幅な単価高となったことから，野菜全体では前年同期を３％上回った。 品目別には，西洋ニンジン，トマトが入荷増の単価安，レタス，バレイショ，タマネギが入荷減の単価高となり，ハクサイ，ナスは入荷減の単価安となった。また，ホウレンソウ，ピーマンは入荷前年並みの単価安，長ダイコンは入荷増の単価前年並みとなり，キュウリは入荷減の単価前年並み，キャベツは入荷量，単価ともに前年並みとなった。 根菜類は，入荷が７％増加し，価格は４％安となった。 葉菜類は，入荷が４％減少し，価格は前年並みとなった。 果菜類は，入荷が前年並みで，価格は４％安となった。 土物類は，入荷が１１％減少し，価格は２４％高となった。
果　実	３月期の果実の入荷状況は，柑橘類が全般に豊作となったため入荷増となり，メロン類も作付面積の増加により入荷増となったが，リンゴ類は大豊作だった前年と比較して入荷減となり，イチゴ類も低温による生育遅れから入荷減となった。結果として果実全体の入荷量は前年並みとなった。 価格は，リンゴ類やイチゴ類は入荷減により単価高となったものの，柑橘類やメロン類は入荷増により単価安となり，果実全体では前年同期を７％下回った。 品目別には，ミカン，イヨカン，不知火，アールスが入荷増の単価安，ふじ，イチゴが入荷減の単価高となった。 柑橘類は，入荷が１７％増加し，価格は１５％安となった。 リンゴ類は，入荷が１２％減少し，価格は６％高となった。 イチゴ類は，入荷が１４％減少し，価格は５％高となった。 メロン類は，入荷が１４％増加し，価格は２０％安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	長崎県，徳島県を中心に，滋賀県，鹿児島県，神奈川県からの入荷。各産地とも前月の低温で生育が遅れていたものが当月に集中入荷し，入荷量は前年同期を６％上回った。 価格は，量販店の特売需要が多く，入荷増ながら前年並みとなった。
西洋ニンジン	鹿児島県を中心に，徳島県，長崎県，愛知県，千葉県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順により品質低下が見られたものの，入荷量は前年同期を１３％上回った。 価格は，入荷増に加え，下位等級の入荷が多かったことから，前年同期を２４％下回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長崎県を中心に，兵庫県，鹿児島県，熊本県，滋賀県からの入荷。各産地とも生育期の低温と多雨により作柄が悪く，入荷量は前年同期を７％下回った。 価格は，不況による加工需要の低迷に加え，作柄の悪化により下位等級中心の入荷となったため，入荷減ながら前年同期を３２％下回った。
キャベツ	愛知県を中心に，兵庫県，大阪府，滋賀県，鹿児島県からの入荷。各産地とも天候不順により入荷状況は不安定だったが，全体の入荷量は前年並みとなった。 価格は，量販店等の堅調な需要により前年並みとなった。
ホウレンソウ	京都府を中心に，徳島県，滋賀県，茨城県，福岡県からの入荷。 各産地とも天候不順により入荷状況は不安定だったが，全体の入荷量は前年並みとなった。 価格は，生育期の多雨で品質低下が見られ，前年同期を３％下回った。
レタス	兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，茨城県，岡山県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を１４％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を１０％上回った。
【果菜類】 キュウリ	宮崎県を中心に，高知県，滋賀県，愛媛県からの入荷。 各産地とも曇天と低温により作柄が悪く，入荷量は前年同期を８％下回った。 価格は，前年が単価高で推移したため，入荷減ながら前年並みとなった。

ナス	高知県を中心に，岡山県，徳島県からの入荷。 各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を１２％下回った。 価格は，不況による需要の低迷により，入荷減ながら前年同期を５％下回った。
トマト	熊本県を中心に，福岡県，三重県，佐賀県，京都府からの入荷。 主力の熊本県では前月の低温により生育が遅れていたものが，当月に集中入荷し，入荷量は前年同期を９％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を８％下回った。
ピーマン	宮崎県を中心に，高知県，鹿児島県，茨城県からの入荷。 各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られたが，前年も作柄不良による入荷減だったため，入荷量は前年並みとなった。 価格は，不況による需要の低迷により，前年同期を８％下回った。
【土物類】 バレイショ （メーク含む）	北海道を中心に，鹿児島県，長崎県からの入荷。 主力の北海道産は夏期の長雨等により貯蔵在庫が少なく，入荷量は前年同期を１２％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を１８％上回った。
タマネギ	北海道を中心に，長崎県，静岡県，兵庫県からの入荷。 主力の北海道産は夏期の長雨等により品薄状態が続いており，輸入量が増加したものの，入荷量は前年同期を１１％下回った。 価格は，全国的な品薄状態から前年同期を４１％上回った。
【その他野菜】 生シイタケ	徳島県を中心に，和歌山県，広島県，岡山県，北海道からの入荷。和歌山県，北海道からの入荷増により，全体の入荷量は前年同期を４％上回った。 価格は，上位等級を中心に不況による需要の低迷が続いており，前年同期を３％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山県を中心に，福岡県，徳島県，香川県からの入荷。 本年は表年で豊作傾向のため，入荷量は前年同期を４７％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を１５％下回った。
イヨカン	愛媛県を中心に，和歌山県，広島県，香川県からの入荷。 主力の愛媛県では前年並みの作柄ながら，当市場への出荷量が増加したため，入荷量は前年同期を２７％上回った。 価格は，入荷増に加え，不況による需要の低迷から，前年同期を３４％下回った。
不知火	愛媛県を中心に，和歌山県，福岡県，佐賀県，広島県からの入荷。各産地とも作付面積を増やしており，入荷量は前年同期を８％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を９％下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心に，岩手県からの入荷。 各産地とも作柄は順調だったものの，前年が大豊作だったことから，入荷量は前年同期を７％下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を５％上回った。
イチゴ	熊本県を中心に，福岡県，大分県，佐賀県，長崎県からの入荷。 各産地とも低温による生育遅れから入荷減となり，入荷量は前年同期を１４％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を５％上回った。
アールス	静岡県を中心に，高知県，宮崎県からの入荷。 静岡県，高知県では作付面積を増やしており，入荷量は前年同期を２１％上回った。 価格は，入荷増に加え，不況による需要の低迷から，前年同期を２５％下回った。